

【漏電ブレーカー】:

確認 / 案内事項確

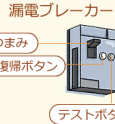
【1】 漏電ブレーカーが落ちていた場合以下の操作を案内→未解決【2】へ、解決【3】へ

漏電ブレーカーが切れたときの操作方法



1 黄色または白色の「復帰ボタン」がある場合は、ボタンを押してください。

- ・「復帰ボタン」のないものもあります
- ・押しボタンが2つありどちらが「復帰ボタン」かわからない時は、2つとも押してみてください



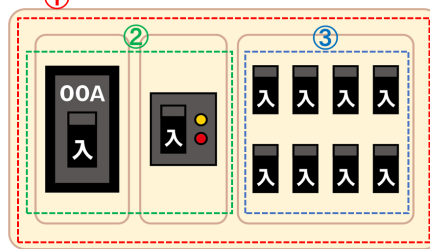
2 つまみを上にあげてください。

- ・つまみが中間位置で止まっている場合は、つまみを一度下げてから上げててください。

3 それでも切れる場合には、どこかで漏電していると考えられます。

- ・すぐにお近くの電力会社あるいは電気工事店に連絡してください。

漏電場所のカンタン検査方法



- ① すべてのブレーカーを下げる
- ② アンペアブレーカーと漏電ブレーカーを上げる
- ③ 安全ブレーカーをひとつずつ上げていく

安全ブレーカーを上げていき途中で漏電ブレーカーが落ちたらそこで漏電している可能性があります。漏電している場所の安全ブレーカーは下げておいてください。

漏電ブレーカーの状態



漏電で切れた状態
スイッチレバーが中央黄色のボタンが飛び出る



OFF(切)状態



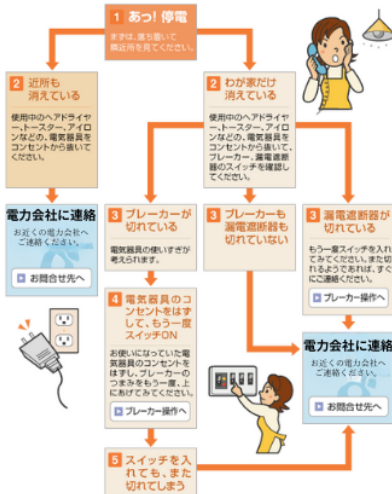
ON(入)状態

※アンペアブレーカー=サービスブレーカー (リミッター)
 ※配線用遮断器=小ブレーカー (安全ブレーカー)
 ※テストボタンは漏電遮断器が正常か、テストするボタン、ボタンを押すと、強制的に漏電状態を作り出します。

- 【2】 家電製品の漏電の場合 (【1】で場所が特定できた場合はその場所で使用している家電だけ)
- 全ての家電のコンセントを抜く
 - 小(配線)ブレーカーを上げてコンセントをひとつずつ差し込む
 - コンセントをさした時にブレーカーが落ちた家電が漏電の原因です
原因が家電のコンセントを抜いた状態にして頂き【3】へ、未解決の場合も【3】へ

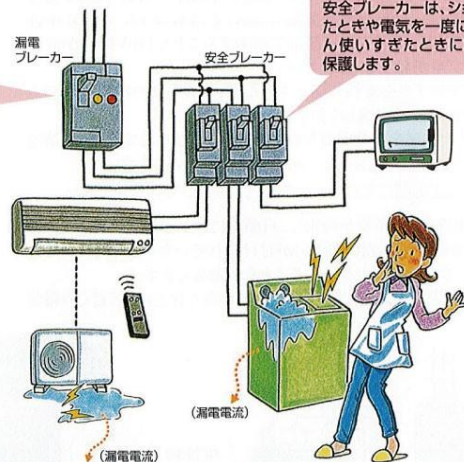
【3】 ポイント事項を確認し連絡、手配、案内、報告を行う

補助情報



漏電ブレーカー(漏電遮断器)は、電気の配線や機器が不良になって、大地間に漏電電流が流れたときすばやく回路を遮断し、漏電による感電や火災を未然に防止します。

(注) 単相2線式配線では、単相2線式用の漏電ブレーカーを取付けましょう。



安全ブレーカーは、ショートしたときや電気を一度にたくさん使いすぎたときに電線を保護します。